

いちねんせいが はじまるよ

配当時数	6+(10)時間 ※生活 6 時間、国語 1 時間、算数 1 時間、音楽 1 時間、図工 1 時間、体育 1 時間、 道徳 1 時間、特活 4 時間		
配当時期	1年 4月	教科書ページ	上巻 p6-19
特に中心となる内容	(1)学校と生活		
活動の目標	クラスの友達や教師とさまざまな活動を行うことを通して、学校の施設の様子や人々について考えることができ、学校での生活はさまざまな施設や人々と関わっているということが分かり、楽しく安心して学校生活を送ることができるようになる。(スタートカリキュラム)		

※本指導計画は、生活科以外の教科等の内容・時数も含めた、「スタートカリキュラム」の活動を示す。

■「スタートカリキュラム」とは

入学当初に、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜながら、幼児期の豊かな学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるようにする場面を意図的につくるカリキュラムのこと。幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続する重要な役割を担う。

■カリキュラムを作成する際のポイント

- 幼稚園教育要領等に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の 10 項目を踏まえる。
- 生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定をする。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

(1)健康な心と体	(2)自立心	(3)協同性	(4)道徳性・規範意識の芽生え
(5)社会生活との関わり	(6)思考力の芽生え	(7)自然との関わり ・生命尊重	(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
(9)言葉による伝え合い	(10)豊かな感性と表現		

スタートカリキュラム期の活動は、「安心をつくる時間」、「生活科を中心とした学習活動」、「教科等を中心とした学習活動」というように、内容ごとに区分して、毎日の活動を構成するとよい。その際、入学当初の児童の発達特性や、この時期の学びの特徴を踏まえて、45 分の授業時間を 10 分から 15 分程度の短い時間に区切ったり、児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆっくりと進めていけるようにしたりするなど、弾力的に時間割を設定するとよい。「安心をつくる時間」は、各教科等の時間ではなく、「授業時数以外の教育活動」として位置付けてもよい。

他教科 (■)・他単元 (●) との合科・関連 >>>

- 友達や教師と仲よくする (道徳)
- 学校生活で見つけたものについて話し合う (国語)
- 名刺を作ったり、名刺交換をしたりする (国語、書写、図工)
- 学校にあるものの数を数える (算数)
- みんなで歌を歌う (音楽)
- 体全体を使ったり、遊具を使ったりして遊ぶ (体育)
- 学校生活で見つけたものを絵に描く (図工)
- 生命尊重、動植物愛護、あいさつ (道徳)

なかよし いっぱい がっこうたんけん

配当時数	14 時間	配当時期	1 年 4-6 月	教科書ページ	上巻 p20-29
特に中心となる内容	(1)学校と生活				
単元の目標	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。				
単元の評価規準	<u>知識・技能</u> <ul style="list-style-type: none">学校生活に関わる活動を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることが分かっている。 <u>思考・判断・表現</u> <ul style="list-style-type: none">学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> <ul style="list-style-type: none">学校生活に関わる活動を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。				

さいて ほしいな わたしの はな

配当時数	12 時間	配当時期	1 年 5-9 月	教科書ページ	上巻 p30-41
特に中心となる内容	(7)動植物の飼育・栽培				
単元の目標	継続的に植物を栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようとする。				
単元の評価規準	<u>知識・技能</u> <ul style="list-style-type: none">継続的に植物を栽培する活動を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。 <u>思考・判断・表現</u> <ul style="list-style-type: none">継続的に植物を栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> <ul style="list-style-type: none">継続的に植物を栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。				

※教科書では、アサガオを栽培することを例にしている。

※日常的な世話は、配当時間外とする。

なつと ともだち

配当時数	11 時間	配当時期	1年 6-7月	教科書ページ	上巻 p42-51
特に中心となる内容	(5)季節の変化と生活				
単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見つけることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。				
単元の評価規準	<u>知識・技能</u> <ul style="list-style-type: none">・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。 <u>思考・判断・表現</u> <ul style="list-style-type: none">・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見つけています。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> <ul style="list-style-type: none">・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとしている。				

いきものと なかよし

配当時数	8 時間	配当時期	1年 9-10月	教科書ページ	上巻 p56-65
特に中心となる内容	(7)動植物の飼育・栽培				
単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、大切にしようとすることができるようになる。				
単元の評価規準	<u>知識・技能</u> <ul style="list-style-type: none">・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらは生命をもっていることに気付いている。 <u>思考・判断・表現</u> <ul style="list-style-type: none">・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや変化の様子に関心をもって働きかけている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> <ul style="list-style-type: none">・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、動物への親しみをもち、大切にしようとしている。				

※教科書では、バッタやコオロギ、ダンゴムシの飼育を例にしている。

※日常的な世話は、配当時間外とする。

あきとともだち

配当時数	16 時間	配当時期	1年 10・11月	教科書ページ	上巻 p66-75
特に中心となる内容	(5)季節の変化と生活 (6)自然や物を使った遊び				
単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりすることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出したりすることができるようとする。				
単元の評価規準	<u>知識・技能</u> <ul style="list-style-type: none">秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付いている。 <u>思考・判断・表現</u> <ul style="list-style-type: none">秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりしている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> <ul style="list-style-type: none">秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びをつくり出したりしようとしている。				

みんなのにこにこ 大さくせん

配当時数	11 時間	配当時期	1年 11・12月	教科書ページ	上巻 p76-83
特に中心となる内容	(2)家庭と生活				
単元の目標	家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとする。				
単元の評価規準	<u>知識・技能</u> <ul style="list-style-type: none">家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かっている。 <u>思考・判断・表現</u> <ul style="list-style-type: none">家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> <ul style="list-style-type: none">家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとしている。				

※家庭での活動は、配当時間外とする。

ふゆとともだち

配当時数	10 時間	配当時期	1年 1・2月	教科書ページ	上巻 p88-97
特に中心となる内容	(5)季節の変化と生活				
単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見つけることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。				
単元の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none">冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none">冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見つけています。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none">冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとしている。				

もうすぐみんな 2年生

配当時数	14 時間	配当時期	1年 2・3月	教科書ページ	上巻 p98-107
特に中心となる内容	(9)自分の成長				
単元の目標	年長児と交流し、自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これから成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。				
単元の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none">年長児と交流し、自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かっている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none">年長児と交流し、自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えている。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none">年長児と交流し、自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これから成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。				